



昨年度校内イベント〈ユニファイドスポーツ〉

ともしび

平和共生・探究委員会ニュース

2020年度 1号

2020年5月20日版

◆「ともしび」とは

スクールモットー「地の塩、世の光」

平和共生・探究委員会は平和や共生に関連する活動を担当する、教員の委員会です。この「ともしび」では、様々な経験をする機会を得た生徒や教員の声を多くの皆さんへ届けたいと思っています。**他の人の経験を共有し、一緒に考える**きっかけとして下さい。

オンライン・グローバルウィーク開催のお知らせ

高等部では国内外の様々な問題について自主学習をしている生徒団体による公開勉強会を開催しております。今年は開催できないかと思われたのですが、各自主学習団体の生徒たちによる「世界中が大きな問題に直面しているこんな状況だからこそ、できる勉強会がある！」という強い申し出があり、オンライン上で開催することを決定しました。

【開催期間】**5月25日（月）～29日（金）** 毎日放課後に Meet 勉強会開催！

25日 月 15:40～17:00 宮古訪問プログラム

26日 火 15:40～17:00 フィリピン訪問プログラム

27日 水 15:40～17:00 ブルーベコ

28日 木 15:40～17:00 ユニファイドスポーツ／青山セカンドチャンス

29日 金 15:40～17:00 ボランティア部

【参加方法】特設クラス「グローバルウィーク 2020」クラスルームの「+」からクラスコードを入力して参加。

このクラスルームは、日本や世界が抱えている様々な問題に興味がある生徒たちが運営しています。高等部生なら誰でも参加が可能です。グローバルウィーク後も引き続き運用し、各団体からの勉強会のお知らせ、活動記録等を配信します。ぜひ参加してみてください。

特集 高等部の平和共生学習

今回はオンライン・グローバルウィークに関わる6つの活動、プログラムを**開催順**にご紹介します。残念ながら今年度は中止のものもありますが、振り返りを共有するとともに来年度以降の活動にもつなげていって下さい。

〔1〕宮古訪問プログラム（3年 M.I.）

宮古訪問プログラムでは東日本大震災で津波により大きな被害を受けた岩手県宮古市に3泊4日で訪れます。被災した建物等を実際に見ることで震災に対する当事者意識を持ち、宮古の方々と交流することで地域の現状から「被災地」と呼ばれる宮古のこれからについて考えることなどを目的としています。

地震や津波をはじめとする様々な災害は、突然私たちの日常に起こり、生活を一変させ、多くの命を奪う脅威と言えるでしょう。皆さんも新型コロナウイルスによってその脅威を体感したと思います。だから、この機会に災害へ意識を向けてみてください。その現実を知ること、当たり前な有り難さや命の大切さを改めて実感できます。また災害に対する備えを知ること、いざという時に自分自身や大切な人の命を守ることができるかもしれません。そして、その経験を皆さんの家族や友人などに共有し、「被災者」や「被災地」を過去の記憶として忘れるのではなく、今、そして未来に生かして欲しいです。



〔2〕フィリピン訪問プログラム（3年 M.N.）

フィリピン訪問プログラムは、春休みにフィリピンを訪れて、現地での経験を持ち帰り、支援の輪を広げる活動を行うプログラムです。現在高等部では、クリスマス献金で集まったお金から、チャイルドファンドジャパンというNPO団体を通じて、フィリピンに住む3人の子ども達を支援しています。

私は、このプログラムを通して、間違った「貧困」観を持っていたことに気づかされました。「貧困」＝「不幸」だと思う人が多いと思います。しかし、フィリピンで出会った方々は、「人生楽しい」と胸を張って言える、大きな心を持っていました。貧しい暮らしの中でもたくましく生き、小さなことに幸せを見出す姿には、私たちが想像する「貧困」のイメージを180度覆すような、活力が溢れています。そんな子どもたちのために、私たちは、渡航前の12月から事前学習を進め、渡航後もグローバルウィークや文化祭で彼らのことを伝える役割を担っています。



〔3〕ブルーペコ／東ティモール訪問（3年 R.K.）

皆さんは自分が普段使っているもの、食べているものがどこでどのように作られたか気になったことはありませんか？ブルーペコでは、東ティモールのコーヒー農家さんとの関わりを大切に、主にフェアトレードについて学んでいます。日本から遠く離れた東ティモールという国で、農家さんたちはどのように暮らしているのでしょうか。コーヒー豆は日本に来るまでにどのような旅をしたのでしょうか。

私たちの団体では、毎年数名が現地へ行って生産者と消費者の持続可能な支援を目標に勉強会を開き、24人で活動しています。そのほか、GWや文化祭ではコーヒー販売を行っています。今年からはコーヒーだけでなく、SDGsや難民問題など、世界の様々な未解決問題についても学んでいきたいと思っています。ブルーペコは部活ではないので、特に出欠はとらず、参加できる日に参加してもらおうので全然大丈夫です！興味のある方はぜひぜひぜひ！覗きにきてくれると嬉しいです！



[4]ユニファイドスポーツ (2年 M.I.)

皆さんは、ユニファイドスポーツを知っていますか？ユニファイドスポーツでは知的障がいのある方と一緒にスポーツをして、彼らとどのようにコミュニケーションを取るか学ぶことができます。楽しみながら、社会の問題点や解決策を探ることができる身近なボランティアの場でもあります。障害あるなし関わらず、スポーツを通して楽しいという感情を共有し、お互いの個性を理解し合い、支え合う関係を築いていくことを目指して活動しています。

去年12月に開催したユニファイドスポーツには、約50人が参加し、知的障がいのある人とない人が、混合チームを作り、障がいの壁を超えてスポーツを楽しむことが出来ました。

誰でも、最初は障がい者の方と接する時、気後れしてしまうことがあります。一緒にスポーツをしていくうちに自然とコミュニケーションが生まれ、最初は表情が暗かった方が、笑顔になるのを見て達成感を感じられます！お互いの先入観や偏見を取り除き、理解し合える第一歩となればと思っています！



[5]Aoyama Second Chance (3年 D.K.)

私たち Aoyama Second Chance (ASC) は、食料問題について深く考え、微力ながらも食料問題の改善に向けて様々な取り組みを行っている団体です。メンバーは4人で、主に二つの活動を行っています。

1つ目は、家庭から寄付できる加工食品を学校で集める「フードドライブ」という活動です。この活動を通じて一人でも多くの生徒や先生に日本の食料問題に目を向けてもらいたいと考えています。2つ目は、グローバルウィーク中に実施している「食べ残しNOゲーム」を行うことです。実際にこのゲームをやって、初めて外食産業や企業側の商品と顧客へのサービスのバランスをとる大変さを学ぶことができると思っています。

まだ校内でも私たちの活動を知っている生徒はごく僅かですが、より一層積極的に活動し、一人でも多くの生徒が食料問題に興味を持って一緒に取り組んでいけたらと思っています。



[6]ボランティア部 (3年 Y.S.)

ボランティア部は、奉仕活動を通して社会に対する問題意識を持ち、他者のために自分の力をどのように用いることができるか考えています。毎週月曜日の部会では部内で活動報告を行い、グローバルウィークでは在校生に向けて学んだことを共有しています。

活動の柱は、大きく三つあります。一つ目は、「えびす青年教室」に毎月第4日曜日に参加し知的障がいを持つ方々と交流することです。継続して参加することで、信頼関係を築き、相手の立場を考える想像力を養うことができます。二つ目は、ACEFという団体を通じて Bangladesh の教育支援を行うことです。文化祭で Bangladesh の小物を販売したり、ACEF との勉強会に参加したりすることで、Bangladesh や教育問題について考えています。三つ目は、長期休みにホームレスの方への炊き出しに参加することです。実際に現地へ赴くことで得られる気づきがあります。他にも、校内で募金をしたり、古切手や使用済み葉書をを集めたり、潮見教会にクリスマスプレゼントを送ったりしています。また、夏休みに YWCA の主催する合宿へ参加することもできます。

一人で未知の世界に飛び込むことは難しいかもしれないけれど、部活として、37人の部員と共に活動ができることはボランティア部の醍醐味だと感じています。

